

## 福山和夫 稽古日誌

平成30年9月8日（土） 牧野明剣館

三中にて。今日は朝から大雨警報、枚方市内中学校の規則により、四中での、午前：枚方市稽古会、午後：北河内地区昇級審査が中止。午前・午後・夜の三部作の予定が、夜の明剣館の稽古だけになる。準備体操、素振りの後、面を着けて基本稽古。地稽古。時間と回数をかけてしっかりと行った。自分の稽古について、基本稽古をたっぷり行って、脚力と腕力を使い果たした後の地稽古の内容に対して実に不満。工夫あるべし。

平成30年9月9日（日） 北河内地区剣道形講習会

10:00～守口市市民体育館にて。明剣館から、志賀さん、光崎さん、井上君と私の4人で参加。島野泰山先生、吉田一秀先生の講師による講習を受講する。島野先生の講話。剣道形の稽古から稽古全般の取り組み方に示唆を与えていただけだ思いである。（今、メモを復元しながら、しみじみ思う。）吉田先生の指導による実技講習。指導・示範を受け、いい勉強をさせてもらう。実技は指導に回る。勝手して明剣館から参加した3人の稽古を見守る。3人ともいい稽古をしてくれている。最後のまとめで井戸川先生にお相手いただいて打太刀・仕太刀両方行う。稽古。10名の回り稽古。自分の攻防・技に本当に不満。終えて志賀さん、光崎さんと喫茶店で軽く反省会。帰路、鳥濱邦彦さんから、谷本美月さん作文入賞の連絡を受ける。

平成30年9月15日（土） 牧野明剣館

三中にて。開始前の時間で、井上凌君に剣道形の指導。中学生にはどんどん稽古して深めて欲しいと願う。素振り、基本稽古を光崎さんに指導してもらって、保護者の方に、秋の数ある大会の参加等の説明・打ち合わせをさせてもらう。地稽古（回り稽古）。自分なりの感覚と攻防・技の動きがかみ合った感じがする。切り返し、跳躍素振りで締める。

平成30年9月16日(日) 北河内地区昇級審査会

枚方中にて。8日(土)大雨警報で延期になった審査が実施された。審査員を務める。武先生、小松良次先生、交野の野田先生、繁富君と5人で審査する。真摯な気持ちで審査にあたる。受審者が皆いい稽古を積んできていると感じる。全員合格。2級受審者のうち2名が飛び級で1級に合格。明剣館の奥村愛さんも合格。いい審査ができた充実感。

平成30年9月16日(日) さだ剣修館

さだ小学校にて。道場に入るときに松田君の姿。板床弟君と切り返しの後、地稽古。後、板床兄君、板床母さん、田村さん、最後に佐藤さんと。いい稽古ができた実感、後の先を軸に稽古する相手とどう攻防をするか。自分の動きと処置に不満。

平成30年9月17日(月・祝) 大道連錬成会(門真)

門真市民体育館にて。低学年を井上君、高学年を志賀さんに任せて、両方を交互に錬成試合を見守る。比較的参加チームが少なかったことで、数多くの練習試合を行い、いい経験を積ませることができた。4月の時よりも進歩を見せていい試合を展開できている。目を細めて見守る。しかし。まだまだ課題は多い。皆精進を積み重ねるべし。鳥濱君から、剣道作文募集で入賞して発表を運動会のために欠席する美月さんの表彰について、後日に症状を届けるとのこと。解散時、美月の入賞を皆に入賞を披露する。

平成30年9月17日(月・祝) 明倫剣修館

明倫小学校にて。小池先生に久しぶりにご挨拶。徳田さんの号令により基本稽古。地稽古。宗像さん、松浦さん、小柳さん、徳田さん、菊池さんと6人で回る。相手が変わるたびに趣向が変わり、5回の充実した地稽古ができた。自分の攻防と処置にはなお不満。

平成30年9月22日（土） 牧野明剣館

三中にて。稽古前、堀(母)さんに枚方秋季総体と修道館杯大会のプリントを説明して預ける。準備体操の後、私の指導により素振り、私も同行行う。面を着けて基本稽古、私の指導、同行により。切り返し、正面、小手、胴、小手面とたっぴりで行う。三中藤井先生も来訪。休憩を挟んで地稽古（回り稽古）1分30秒で1周。間合いと機会の攻防、そこから技を施すところが、いい感じでつかめてきたように思える。涼しくなってきたこともあるだろうか。凌と顕士に木刀・小太刀を持っておくように伝える。

平成30年9月23日（日） 牧野明剣館

殿二小にて。道内試合を実施。準備体操の後、素振りの同行しながら指導。木刀の稽古法の復習。志賀さんの号令で基本稽古。今回の道内試合も、趣向を凝らして行う。①木刀の稽古法の判定試合 ②基本判定試合 ③試合、初級者は前進後退正面、跳躍素振り、踏み込んで正面で判定試合。道内試合を通じて正しく技量の上達をして欲しい願いをもって行う。終わって少し話す。他のスポーツと違って、剣道の試合はあくまでも剣道の一部であること。剣道の試合には正しく優れた技が求められること。技を磨くべき所以である。

平成30年9月23日（日） さだ剣修館

さだ小にて。20時～の一般の地稽古に参加。永添さん、奥さん、川上さん、長さん、板床(母)さん、小学生2人、最後に松延さんと。前半の自分の動きには全く不満、昨日と差異がありすぎる。竹刀の選択にも問題がありそう。途中で竹刀を換えてから、まともな攻防ができるようになる。検討の必要。

平成30年9月24日（月・祝） 明倫剣修館

明倫小にて。体育館に入ると菊地さんが子ども達と基本稽古などを一緒にされて、一般の稽古の最後までされているご精励に感心して見つめる。一般の稽古。小池先生の号令で、基本稽古。切り返し、正面、小手面、面の応じ技、小手の応じ技。地稽古（回り稽古）宗像さん、小柳さん、菊地さん、松浦さんと。間合いと機会のいい攻防を展開。平日に稽古できない現在の私にとって、休日の稽古は貴重。昨日、今日と稽古に加えていただけることに感謝。

平成30年9月26日（水） 明倫剣修館

明倫小にて。子ども達の稽古の後、徳田さんの号令で一般の稽古。切り返し、正面、小手面、相面、面に対する応じ技、小手に対する応じ技。基本稽古のメニューをきっちりと用意してくださるのはありがたい。地稽古。小柳さん、徳田さん、菊地さん、さだの川上さんと。自分の稽古内容に不満。攻め合いの際に構えが納まっていない、いつでも行ける状態になっていない。...

平成30年9月29日（土） 大阪府道場連盟審判講習会・研修会

9:00～修道館にて。森文男先生、佐藤誠先生の指導のもとで審判講習と稽古を行う。森先生の挨拶、佐藤先生の講話の後、午前・午後と実技講習。私の組は午前の最後になる。審判の勉強、練習をする機会も少なく、いい機会になった。佐藤先生が私の宣告の発声をほめてくださる「めっちゃええ声や!」。1日の講習を通じて佐藤先生舌好調。多くのことを勉強させてもらい、かつ楽しく面白い講習を受講させてもらえた。講習を終えて稽古。受講生の方と稽古の後、佐藤先生、森先生にお願いする。間合いと機会の攻防、技の切れ、面の相打ち。。。順番を待つ間の見学も含めても含めて良い稽古をさせていただく。

平成30年9月29日（土） 牧野明剣館

19:00～三中にて。多くの一般の方々、子ども達が来訪、賑やかな稽古になる。菊地さん、清水さんの他に、日高さん、京都の柳館さん、越智さん父子、内間さん父子、佐々木君。私の指導、同行にて素振り。面を着けて基本稽古の指導。小学生の基本打ちを一般の元立ちが受ける。ひとつおりのメニューに1・2級の審査内容、追い込みも入れてたっぷり盛り沢山に。子ども達の休憩の間に一般の基本稽古。切り返し、正面、小手面のセットを3回。子ども同士で地稽古（互角稽古）、一般の地稽古。一般の元立ちで子ども達の引立稽古。今日の稽古はまだまだ時間が欲しかったが、やむなし。